

TOPIC

# 2021 国際スピーチコンテスト

A



**A フィリピン**

マリ・M・フェルナンデスさん/11歳

コロナパンデミックは、私たちの生活を一変させました。しかし、自分のことだけでなく、周りの人やコミュニティ、そして環境の大切さに皆が気付くきっかけともなりました。もし、皆がこの機会に行動を起こしていけば、11歳の私にも安心して生活できる明るい未来があると信じています



**B ミャンマー**

ウインさん/24歳

人間は、ほかの生き物より知性があり、自然を詳しく知ろうとし、多くの天然資源を利用してはいます。人間は自然に頼り過ぎています。人間の欲には際限がないので、地球がこんなにも壊れてしまったのです。私は将来、ビジネスをしながら、世界中の生物と人間との共生や、自然の保護に努めていきたいです



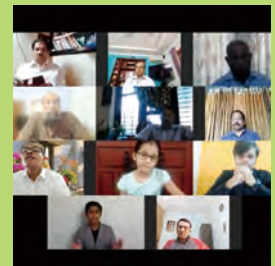
**C タイ**

ナチャヤ・トンヌヌイさん/19歳

タイは生物多様性が豊かで、国はその多様性に支えられています。そのため、企業、自治体、個人を対象とした自然環境保全20年計画があり、国家を挙げて環境保全に取り組んでいます。一人の力では変えられない未来も、皆の力を合わせれば変えることができるのです

**H 南インド**

コロナ禍で全ての学校が閉鎖されている中、募集から審査までの全てをオンラインで実施。250件の応募を得て審査を重ね、生物多様性の日には、国内における各部門の最優秀賞を決定しました。また、コンテストを通して国連「国際生物多様性の日2021」のテーマである“*We are part of the solution* (私たち自身が解決の鍵)”と連動し、若者の参画の重要性が訴えられました。





### D インドネシア

ホウクマー・シャビッヤールさん／12歳

小さな行動が大きな結果につながることを伝えたいです。生物や環境を守るため、私たちの学校は「子供の森」計画に参加し、毎年1人1本植林しています。将来の地球環境のためにも、未来を担う私たちが自然に気を配り、自然を愛していかなければならないと思います



### E ウズベキスタン

ティムールさん／25歳

アラル海は世界最大級の湖であり、その豊かな生物多様性は、周辺諸国の食糧供給源として多くの人々を支えてきました。しかし、1960年代からの環境汚染により私たちのふるさと、アラル海は砂漠化し荒廃してしまいました。この課題解決のためには科学的な知識に基づく地道な活動の継続が必要です



### F スリランカ

ドウラーンさん／12歳

木を植えたり、ゴミを削減したり、動植物を愛すること。私たちは人間として、大切な自然環境のために、たくさんのことで貢献できます。僕はスリランカの子どもとして、生物多様性あふれる母国の自然を守る責任があると思っています

### G 香港

現地の社会福祉団体、元朗大會堂と共催で募集し、104件の応募がありました。1次審査ではスピーチ原稿を、2次審査ではスピーチ動画を選考。中高生部門のチャンさんは、ハチの減少による私たちの生活への影響を例に、あるべき未来のために今必要な行動について訴えました。



小学生部門最優秀賞  
トレバー・チウさん／10歳



中高生部門最優秀賞  
ヨディ・チャンさん／13歳



オイスカは、5月22日の「国際生物多様性の日」および今年からスタートした国連「生態系回復の10年」に呼応し、コロナ禍においても世界の青少年が意見や思いを共有できる場としてスピーチコンテストを開催。「生物多様性と環境保全」をテーマに、小学生、中学・高校生、青年の3つの部門でスピーチを募集しました。日本国内では131件、オイスカの活動する各国では、13カ国・地域から400件以上の応募がありました。各国のコンテストの様子や、参加者のスピーチを一部ご紹介いたします。

環境を守るために、あなたが取り組んでいることや  
取り組みたいことを、ステイホームで世界の仲間たちと共有しよう



UNITED NATIONS DECADE ON  
**ECOSYSTEM  
RESTORATION**  
2021-2030

#### 国連「生態系回復の10年」

生態系回復を促進させるために国連が定めた10年。女性、子ども、若者、老人、障害者、先住民などすべての利害関係者が十分に関与する重要性が強調されています

# 国内最優秀 作品介绍

日本国内では、小学生部門46点、中高生部門52点、青年部門33点の応募があり、環境や生き物への思いや、保全のための取り組みについて、自らの体験とアイデアを語ったスピーチが多数寄せられました。各部門の最優秀賞を受賞したスピーチの要約をここで紹介します。

## 小学生部門

『三ツ星エコクラブ』  
星万潤さん(11歳／新潟県)



私は、小学2年生から続けている植物の観察や実験を通して、植物が次の世代のために命をつなぐ努力や工夫をしていることを知りました。また、私が住む

魚沼市では、里に下りてきた

「クマ」や「サル」による被害が近年増えていますが、これは山の環境が変わり、食べ物が不足したからだと思います。

私は、7年前から家族と共に環境保全やエコ活動を行う「三ツ星エコクラブ」を結成し、ゴミの分別や節電などの身近にできる取り組みを続けるとともに、小学生向けに環境教室の開催をするなど、多くの人に環境に興味を持ってもらえるように呼びかけています。

私は、動物や植物の方が人よりも未来や次の世代のことを考えていると尊敬します。私た

ち人間は、これからの未来、次の世代のために「今」どんなことをしたらいいのでしょうか。

動物や植物と共にこれからも長くこの地球で暮らしていけるように話し合い、協力していけたらいいと私は強く思います。

## オンライン表彰式開催!

国内におけるスピーチコンテストの表彰式は、希望者へオンラインで個別に実施。7月30日には、小学生部門最優秀賞を受賞した星さんへ、公益財団法人オイスカの中野悦子理事長より、表彰状および副賞が授与されま

した。式に際し、星さんは、最優秀作品に選出されたことへの驚きや喜びを述べるとともに、「これまでの活動を通じ、多くの友だちがエコに興味を持ってくれた。小さな活動でも、多くの人を取り組むと大きな力になると思うので、無理なくコツコツと続けられるエコ活動を考え、これからも皆に広めていきたい」と今後の活動への意気込みを語りました。中野理事長は「動物や植物などをしっかり観察して、さまざまな環境問題に向き合いながら、未来に命をつなぐという一番大事なことをこのように表現してくれたことが嬉しい。これからも星さんのような活動を通して、子どもたちが力強く生きていけるようになることを願っている」とコメントしました。



## 中学生・高校生部門

『森の人 オランウータン』  
衛千尋さん(15歳／千葉県)



「森の人」という意味を持つ動物を知っていますか？ 正解は、木の上で生活する世界最大の哺乳類であり、私の好きな動物、オランウータンです。しかし、その生息する熱帯雨林の多くは、違法伐採などによって壊され、このままではオランウータンは10年以内に絶滅の危機にあるそうです。そして、日本ではそのことがあまり知られていません。そこで、私はオランウータンを救う方法を考えました。まず、学校でサークルを立ち上げ、NPOの行う保護プログラムを調べたり、森林破壊を防ぐ方法を考えたりして、多くの人に向けてSNSなどで発信します。また、私の学校のある市川市の動物園と協力して啓発プログラムをつくり、市内の生徒



たちへの周知と、募金活動を実施します。森林の破壊は、オランウータンだけでなく地球全体の環境問題のほんの一部です。特に私たち若い世代はこれに真剣に取り組み、リサイクルなどで身近なライフスタイルを変える必要があります。

10代の環境活動家であるグレッタさんは、「私たちが何かを成し遂げようと決心した瞬間、私たちは何でもできる」と述べました。オランウータンと地球を救うためにできることを始めてみませんか？(原文は英語)

## 青年部門

『海外生活で気づいた環境を守る大切さ』自分じゃなければ誰か、今じゃなければいつ行動するのか』

大山涼也さん(25歳/東京都)



私は青年海外協力隊に志願し、中米の国ベリーズに派遣されました。そこでは主に、適切なゴミ処理方法の普及を実施。住民

の啓発普及に努め、学校で3Rを伝えるイベントを開催したり、

ゴミ収集に関するリーフレットを作成するなど、地域の行政やNGOと協働しながら、たくさん企画を行いました。しかし滞在中、日本語で「ありがとう」とプリントされたプラスチック袋を見つけたことがあり、大変ショックでした。日本で捨てられたゴミがベリーズまで流れ着き、同国の象徴的な動物、マナティイなどが生息する生態系に悪影響を及ぼしています。ベリーズの環境問題は、その国の人だけに起因しているわけではなかったのです。

私は帰国後、環境に配慮した包装を専門とする会社で働きはじめました。ベリーズで、不適切に廃棄されたプラスチック製品が環境に与える影響を知り、自然分解される地球にやさしい包装をビジネスで普及するために頑張っています。

最後に私が尊敬する国連本部の方の言葉を紹介します。

“あなたじゃないとしたら、誰が？ 今じゃないとしたら、いつ？”

皆さん、世界を良くするための行動を起こすのに遅すぎることはありません！(原文は英語)

## 国内受賞者

### ●小学生部門

【最優秀賞】星万潤(新潟県)

【優秀賞】松本憩(山口県)

【特別賞】山口溪心(千葉県) / 竹下雄惺(東京都) / 宮部碧(愛知県) / 内藤葉菜(愛知県) / 大平千春(長崎県)

### ●中学生部門

【最優秀賞】衛千尋(千葉県)

【優秀賞】佐々木文葉(広島県)

【特別賞】洪田陽菜(福岡県) / 長田結丸(東京都) / 矢彦沢穂乃花(長野県) / 石井直歩(千葉県) / 後藤愛彩(鹿児島県) / 黒田美也(長崎県) / 工藤麻矢(福岡県)

### ●青年部門(39歳以下)

【最優秀賞】大山涼也(東京都)

【優秀賞】小林愛明(新潟県)

【特別賞】Kaoru McGregor(カナダ/日本国籍) / 佐藤駿一(山梨県) / 坂田悠綺(東京都) / Joyce Villanueva(愛知県/フィリピン国籍) / 杉山智陽(静岡県)

### 〈協賛・協力・後援〉

協賛：株式会社東急ホテルズ、C.H.C. システム株式会社、株式会社 I.M.A.

協力：三菱自動車工業株式会社、ライオン株式会社

後援：国連環境計画生物多様性条約事務局

### 審査委員長総評

ペマ ギャルボ(拓殖大学国際日本文化研究所教授)

表現力や行動力、問題提起力、これからの活動につながるような社会への影響力を重視して審査を行いました。どの発表も環境に対する真摯な思いが伝わり、優秀作品の決定は非常に困難でした。また、応募者一人ひとりが素晴らしい知識と経験を得ており、私も68年間生きてきた中で知らないことを多く学ばせていただきました。皆さんがそれぞれの分野における啓蒙者・活動家としてリーダーシップを発揮することを期待するとともに、敬意を表します。

スピーチコンテスト発表動画

**YouTubeにて公開中!**



世界の仲間たちの声を聞き、  
皆で生物多様性・環境保全に  
取り組んでいきましょう!



↓ YouTube 再生リストはこちら



<https://youtube.com/playlist?list=PLNaUDHX-t2fD54hV9luFz0YkwSSuMDj-9>